

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、此の度、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

[ 8368 ] 抗IA-2抗体

「(8368) 抗IA-2抗体」の検査開始に伴い、研究用検査(未保険)である「(4608) ICA512抗体」の受託は平成17年1月22日(土)をもって中止させていただきます。  
(ICA512抗体とは抗IA-2抗体の別称であり、実質的に同じ項目を意味します)

### 受託開始日

平成17年1月24日(月)

## 抗 IA-2 抗体

抗 IA-2 抗体は、別名“ICA512 抗体”とも呼ばれる、比較的近年に同定された糖尿病関連自己抗体です。小児の急性発症 1 型糖尿病(従来のいわゆるインスリン依存型糖尿病；IDDM)患者に高率に検出される反面、抗 GAD 抗体に比して成人発症 1 型糖尿病における陽性率は低く、30 歳以上の患者で陽性となることは稀です。また、slowly progressive 1 型糖尿病患者にもほとんど検出されません。さらに 1 型糖尿病の罹病期間との関連においても、抗 GAD 抗体よりもやや早期に消退する傾向が認められます。

これらの知見から抗 IA-2 抗体は、抗 GAD 抗体とはその出現機序や病因論的意義の異なる、1 型糖尿病に疾患特異性の高い自己抗体と考えられます。すなわち、抗 IA-2 抗体の臨床的意義は若年者で、かつ急性発症型という典型的な 1 型糖尿病症例の確定診断にあると云えましょう。抗 IA-2 抗体と、抗 GAD 抗体を始めとする他の自己抗体検査の組み合わせが 1 型糖尿病の診断率向上に寄与することも確認されています。

1 型糖尿病を疑いながら抗 GAD 抗体陰性の場合、抗 IA-2 抗体の追加検査が有用です。

### 検査要項

項目コード	8368
検査項目名	抗 IA-2 抗体
検体量	血清 0.3mL
保存方法	凍結
検査方法	RIA 法
基準値	0.4 U/mL 未満
所要日数	4 ~ 10 日
検査実施料	230 点 (「D008」内分泌学的検査の「18」)
検査判断料	134 点 (生化学的検査(Ⅱ)判断料)
定価	4,000 円
備考	

### 主な対象疾患

1 型糖尿病  
(インスリン依存型糖尿病)

### 関連検査項目

抗 GAD 抗体  
インスリン抗体

#### [注]

抗 IA-2 抗体測定は、既に糖尿病の診断が確定し、かつ抗 GAD 抗体陰性が確認された 30 歳未満の患者に対し、インスリン依存型糖尿病 (IDDM；1 型糖尿病) の診断に用いた場合に実施料を算定することができます。

なお、30 歳以上の抗 GAD 抗体陰性糖尿病患者での測定にあつては、診療報酬明細書の摘要欄にその理由および医学的根拠を詳述することが必要となります。

#### 検査法参考文献

松浦信夫, 他: プラクティス 16: 567-572, 1999.